

広報

こしがや

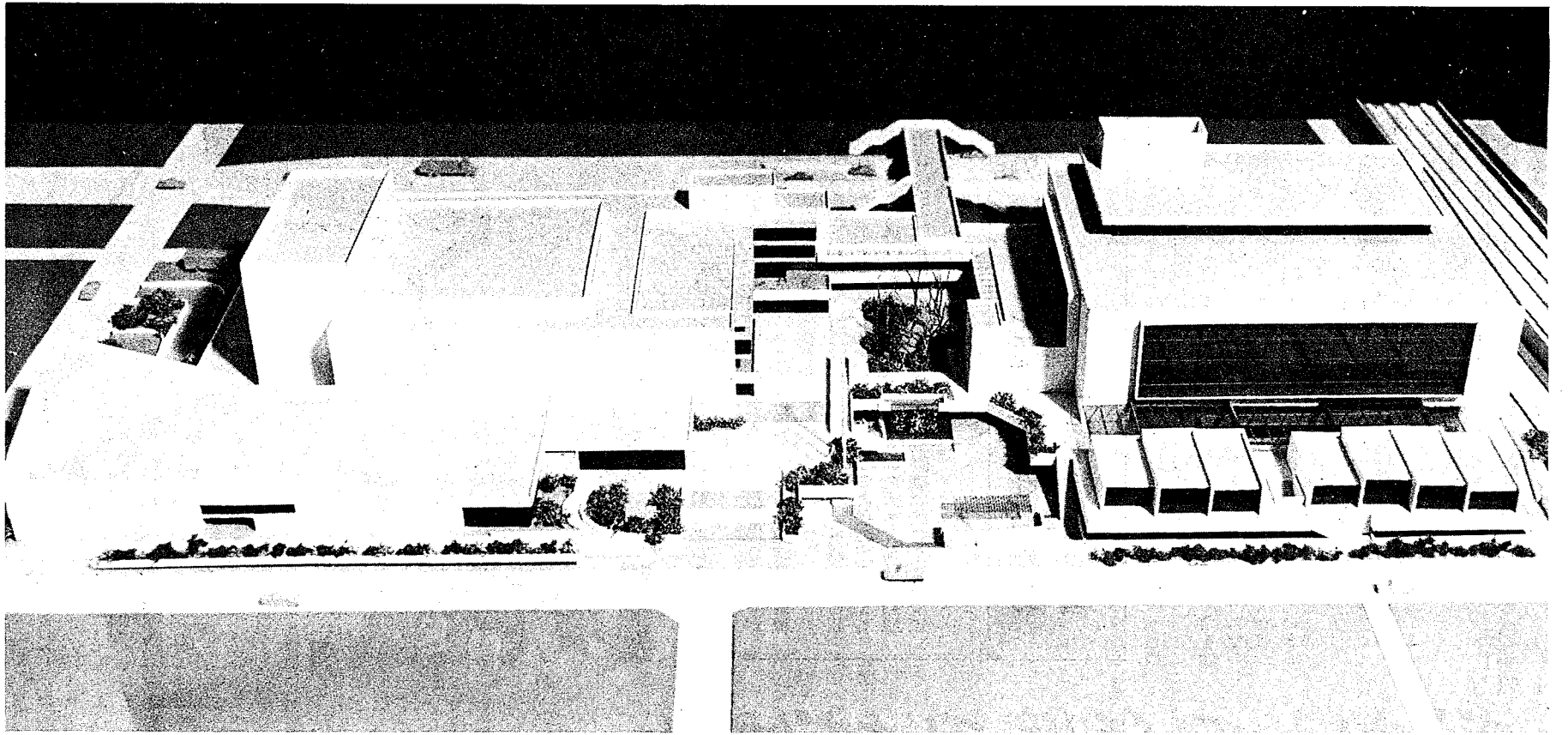
1月1日

昭和51年(1976)No.512

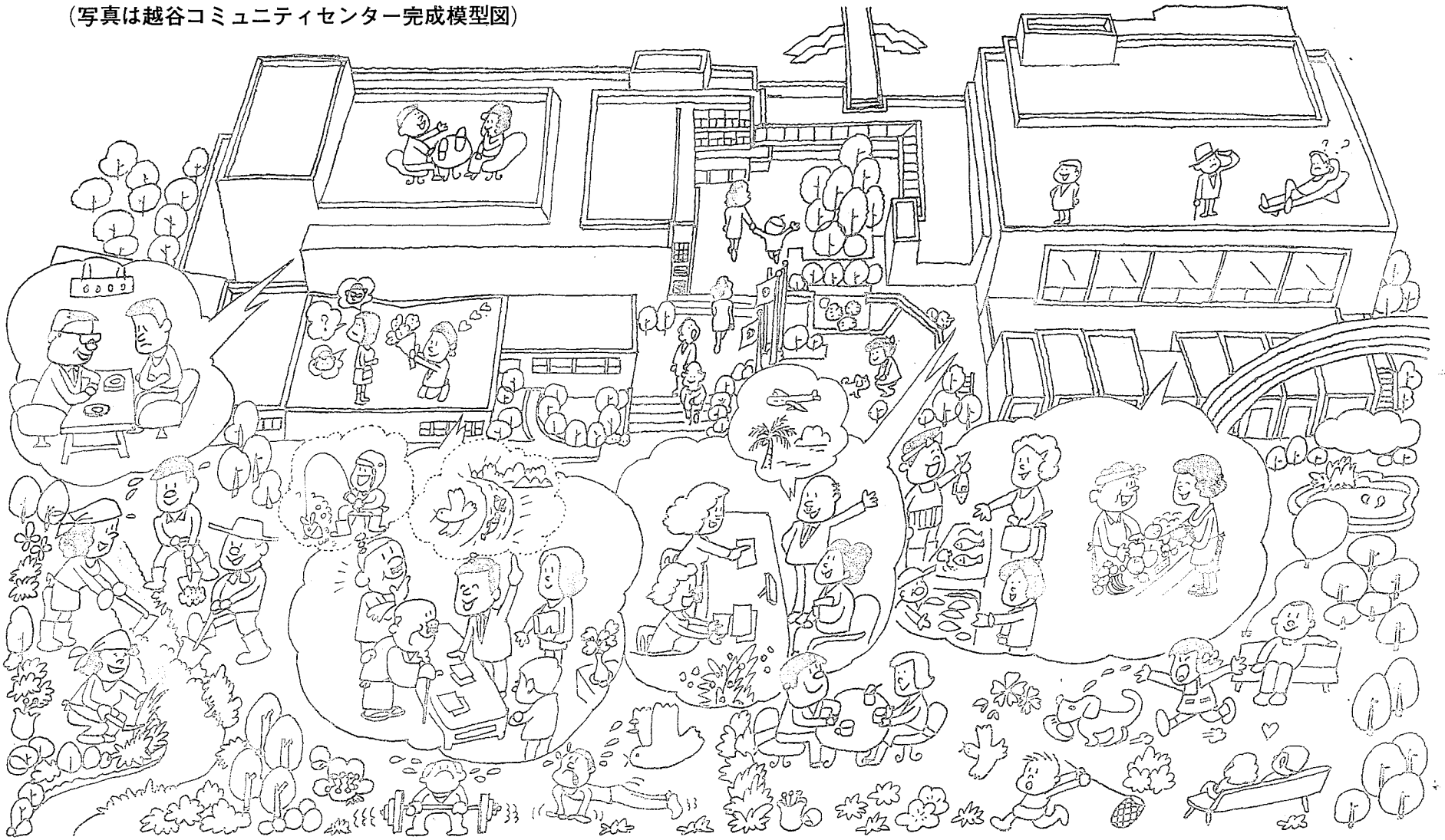
編集

越谷市役所企画部広報課

昭和32年8月5日第3種郵便物認可
毎月2回(1日・15日発行)



(写真は越谷コミュニティセンター完成模型図)



また一方、開発の波により宅地造成等が進む中で昔の清らかな川の流れば都市公害等の影響を受け、みるまに汚濁され、市内の河川はゴミや排水によってドロ川と化し今や魚も住めないほど汚れています。かつて自然の景観が人々の心を清めなぐさめてくれた川や自然……これら「水郷こしがや」を環境破壊という名の魔手から守るため市民の連帯を密にし一人一人の努力によって快適な生活環境と真のコミュニティが芽ばえるものです。

この、人口増加と都市化によって、越谷の自然、風土は、日増しに失われつつあり、あわせて合理化社会、高度管理社会における人間性の喪失等が進行する中で、今日ほど市民の心の交流、信頼の回復、連帯感などを強く求められるときはなく、これらの対応が今後の行政の大きな課題となっています。

こうした情勢の中で望ましい市民生活を確保するための都市施設の整備は急務であり、今日こそ全市民が地域的な連帯感に基づき、地域の問題を共通の問題として考え、行動し、解決するための新しいコミュニティづくりを促進することが必要なのです。

越谷市は首都圏二十五キロ圏に位置することから首都東京のベッドタウンとして急激に人口が増加し、市制施行当時の昭和三十三年の四万八千人に比べ現在では十九万五千人と、過去十七年間余りに約四倍と異常なほどに爆発的な人口増加となりました。

新しい
コミュニティ
づくりへ

越谷市立病院 1月12日オープン



地下1階にある放射線科には、ガン治療に大きな期待がかけられるガン治療装置(ライナック)が設備されています。

「一日も早く病院を作ってほしい……」19万市民の悲願である市立病院は、いよいよ一月十二日オープンのはじまりとなりました。

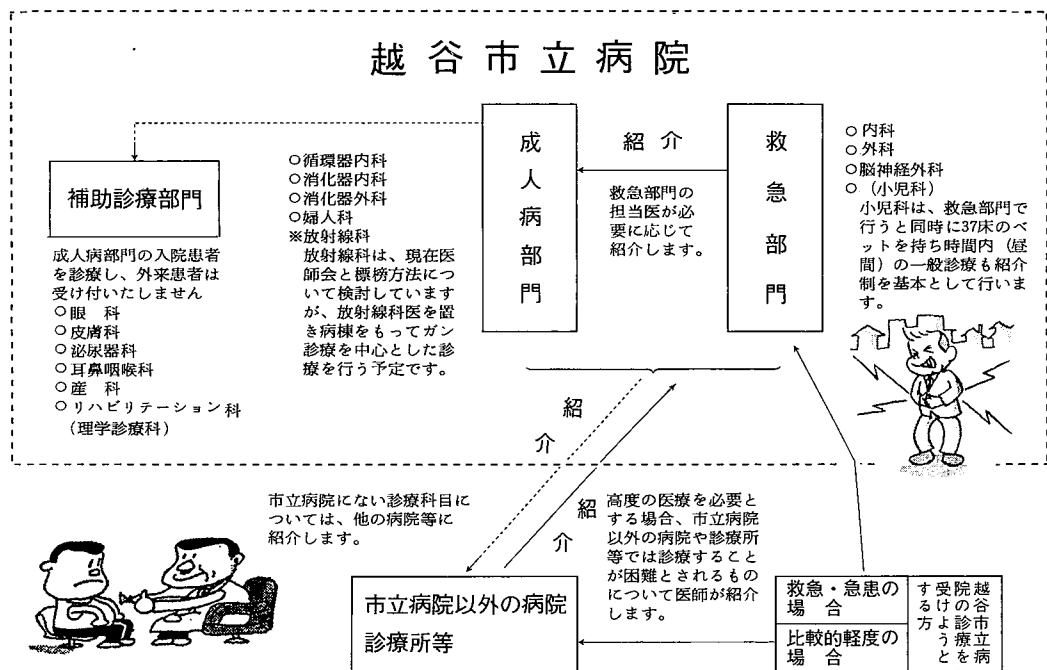
高度の医療技術と施設をもつ成人病部門と、誰でも診療を受けられる救急部門の二部門で構成され、市民のいのちと健康を守る市立病院は、地域の基幹病院として市民の健康増進を計っていきます。

昭和五十年の世論調査では、市に一番力を入れてほしい重点施策として「医療体制の充実」がトップに上げられました。この市民の声に応えるためにも、今後も市医師会や開業医との十分な連携を保ち、地域医療懇談会、また市立病院運営審議会の中で、さらに地域医療の確立をはかっていかなければなりません。

市民のいのちと健康を守るため 一歩一歩前進

病院完成に伴い、去る十一月三十日から三日間行った市立病院の一般公開には、約二五〇〇人の市民が熱心に見学しました。医療不足の越谷市の中で、三〇〇床のベッドをもち、県内最大の医療体制を誇る市立病院に、みんなの大きな期待が寄せられていますが、三〇〇床の病院が一つできたということ、越谷市の医療がすべて解決したということではありません。医療の基本的な考え方としては、誰でも、いつでも医療の提供がうけられることが理想とされますが、現在の市立病院のきめられている

市立病院を正しく利用していただくために



成人病を主とした…成人病部門 救急・急患のための…救急部門

市立病院の診療科目は、成人病部門、救急部門、補助診療部門とあわせて十五科目です。

成人病部門には
循環器内科：手術を必要としない心臓疾患や高血圧症
消化器内科：食道、胃、腸、肝臓、たんのうなどの疾患で手術を必要としないもの
消化器外科：消化器内科疾患と肛門外科などを含む疾患で手術を必要とするもの
婦人科：女性性器疾患
放射線科：X線診断と治療

脳神経外科：頭のけがや脳しよんなど
があり、市内の医療機関等では設備の関係で診断が難しいとか治療が困難な患者について市立病院が診療にあたるもので、これはすべて医師の紹介による紹介外来制をとるものです。

この医師の紹介については、越谷市の開業医のほか市外の医師の紹介であっても受けられます。また、市立病院の救急部門で受けた患者がその医師の紹介によって成人病部門の診療も受けられるわけです。

診療の受け付け

診療の受け付けについてはつぎのとおりです。

受け付け時間
午前8時30分～午前11時 総合受付の窓口(正面玄関)

診療開始時間
午前9時から

救急患者の受け付け
時間内は総合受付(正面玄関)
時間外は救急受付(西側玄関)
日曜、祝日は午前8時30分から翌日8時30分 救急受付(西側玄関)
休診日についてはつぎのとおりです。
日曜日、祝日、年末～年始(12月29日～1月3日)

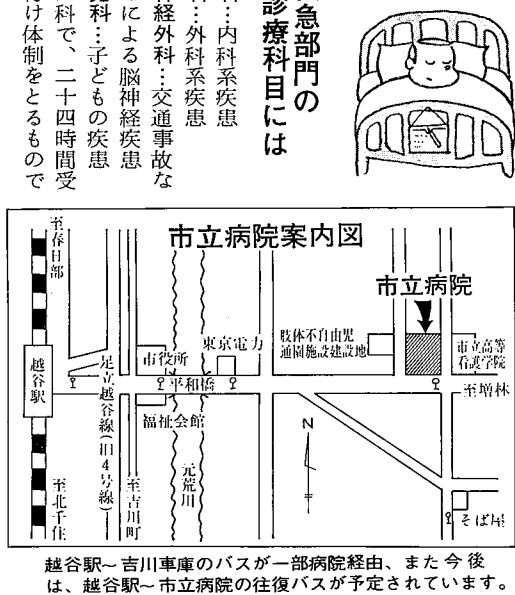
救急部門の診療科目には
内科：内科系疾患
外科：外科系疾患
脳神経外科：交通事故などによる脳神経疾患
小児科：子どもの疾患
の四科で、二十四時間受け付け体制をとるものです。

私たちはいつ病気になるかわかりません。また、病気というものは予測できるものではありません。うことから、昼間忙しいから夜間に急に出たり、下痢を起したとか、とにかく一刻も早く医師に見てもらわなければならないとき、いつでも、誰でもこの救急部門で診療を受けることができます。

救急という言葉から、救急車で運ばなければ診てもらえないのか?という市民の声があります。これは、救急車で運ばれる患者はもちろんです。救急車で運ばれなくても、いそいで診察してもらわなければならない患者については、救急部門で診療を受けることができます。

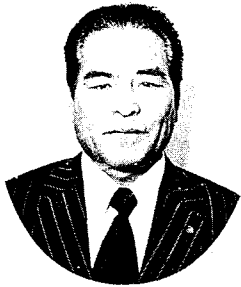
なお、慢性疾患のように長い間医師の診療を受けている方は、その医師の紹介によって成人病部門を利用していただきます。

補助診療部門には
皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産科があります。これらの科目は市立病院の入院患者の診療を対象としており、外来患者についての診療は行いません。

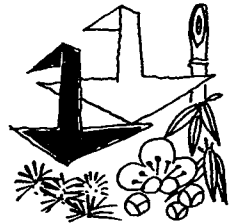




あけましておめでどうございます



1976年を むかえて



希望にあふれる郷土越谷を

越谷市長 黒田重晴

市民の皆さん、新年おめでどうございます。めまぐるしい現代社会ですが、昨年は大きな変化がありました。それは、高成長時代から低成長時代へ、という単なる経済の動きだけでなく、三十年前の戦争の廃虚から立ち上って以後、「物質的な豊かさ」だけを、ただひたすら追いつめて来た人々が、ふと我に帰った、といううかすかな、そして貴重な変化です。インフレは収まらず、不況がますます進行して市民生活をおびやかす、その市民生活を守る地方自治体までが深刻な財政危機に直面した昨年は、決して良い年ではありませんでしたが、禍い転じて福とするならば、今年はこのかすかに芽生えた「心」を大切に育ててゆきたいものです。

私は、越谷市を生き生きとした市民の連帯感に支えられる、明るい住みよきまちにしたいと思えます。日本一明るく住みよきまちとして創造性と個性のあるまちに。現在の越谷市の現状は、急激な人口の増加によってもたらされた沢山の山積が山積しており、むしろ悪い面が目立つような実態です。しかし、私は越谷市の未来に希望と自信を持っています。そして勇気と決断をもって、明るく個性豊かな越谷市のまちづくりに全身を打ち込んできました。

より積極的な市民本位の市政を

越谷市議会議長 浅見真哉

あけましておめでどうございます。昭和五十一年の新春を迎えるにあたり、平和と希望に満ちた輝かしい年でありませう、お祈り申し上げますとともに、日頃、市政に深い御理解と御協力をいただいております市民の皆さまに対して、市議会を代表し、心から感謝申し上げます。

いま、地方自治体は財政などの面において重大な課題であり、市議会といたしましても、その責任の重大さを痛感して、円滑な議会の運営と、市政の伸展に努力いたします所存であります。

昨年は、社会環境や経済情勢の急激な変化の中で、自治体の財政は、かつてないほどの窮乏下にあつて、増大する市民の行政需要にこたえてきたところであり、ますますさらに解決しなければならぬ諸問題は山積いたしました。

国の総需要抑制策が、若干緩和されるべきであると言え、当市の五十一年度財政運営は、かなり厳しいものと予想されますが、市民生活の停滞を招来することは絶対に避けなければならないことは申すまでもありません。

市民の健康を守る市立病院が完成し、今月十二日からオープンします。市民の皆さんの協力により、開発指導要綱は着々と成果を挙げ、スプロール化した越谷の整備を促進してまいります。合わせて、市民の信頼を取りもどした区画整理事業は進展して整然とした新しいまちづくりが進んでいます。スポーツ・レクリエーション都市を宣言して一年、今では市内のすみずみまで、健康な体と心、健全な家庭をつくり、地域の連帯を高める、市民各層の活動の輪はどんどん広がっています。

昭和五十二年秋の完成をめざすコミュニティセンターは、市民の文化活動の殿堂となり、地盤沈下した越谷市の商業活動をよみがえらせ、二十万市民の連帯をさらに高める広場になるでしょう。教育と福祉を重点政策として大切に育ててきた子供たちは、すくすくと元気にたくましく成長して、我々に続き、さらにたくましく前進するでしょう。また青年の都市である越谷にはこんなに希望があるので、今は苦しいけれど、かぎりない希望にあふれる越谷市のまちづくりをめざし、私は元且マラソンのスタートで、元気に昭和五十一年の市政に取り組みます。市民の皆さん、一緒に力を合わせ愛する郷土越谷を育てましょう。

すべての市民が、ひとしく「越谷に住む喜び」を受けるよう、より積極的に市民本位の市政を展開し、市民福祉のための生活環境整備に重点を置いた施策の実現に努力したいと存じます。

特に本年は、市民が久しく待望しておりました市立病院の開院やコミュニティセンターの建設促進など、市民生活の向上のための施策が、困難な財政状況の中であっても、真剣に取り組んでまいります。

地方自治体が、民主政治のなめめとして、豊かな地域社会の建設に邁進しなければならぬときであり、市議会といたしましても、いままですべてをあげて、政府ならびに各省庁関係大臣に対し、その抜本的な対策と解決のため努力されるよう、要望してまいりました。議決機関として終始公正に、二十万市民の信託にこたえるべく、今日の情勢を的確に把握し、市政のチェック機能としての機能を十二分に発揮しつつ、この難局を乗り切り、住みよき街づくりのため全力を傾注する所存でありますので、市民の皆さまの一層の御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

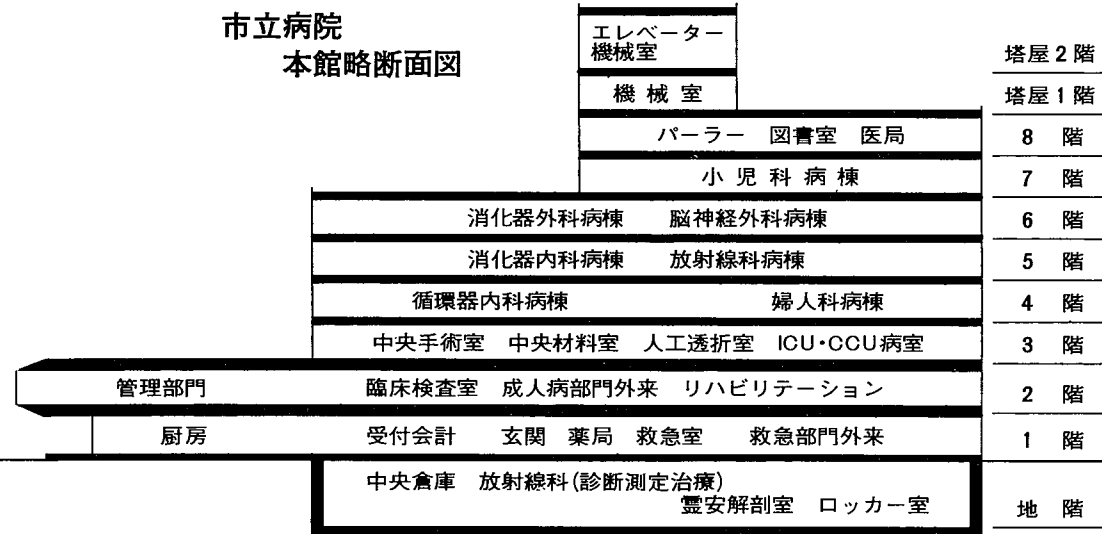
地域の基幹病院

開院を待つ越谷市立病院

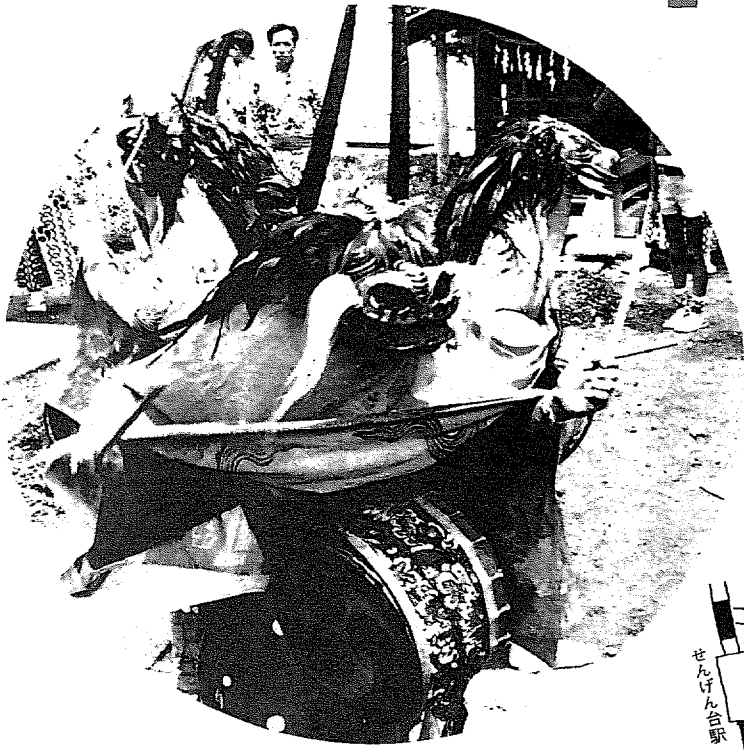
地下1階、地上8階、県内最大の医療施設を完備した越谷市立病院は、高度な医療技術と近代的な設備を整え、地域の基幹病院としての役割りを果たす市民のための病院です。



市立病院 本館略断面図



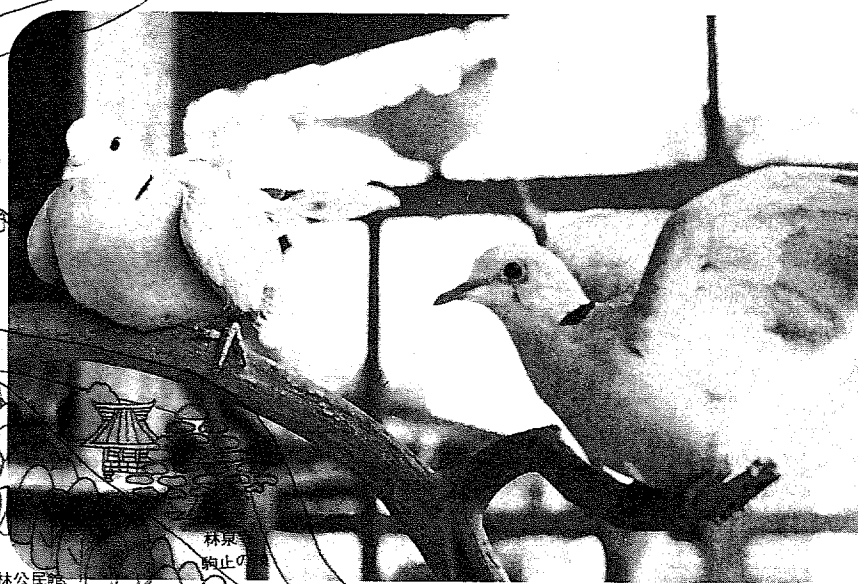
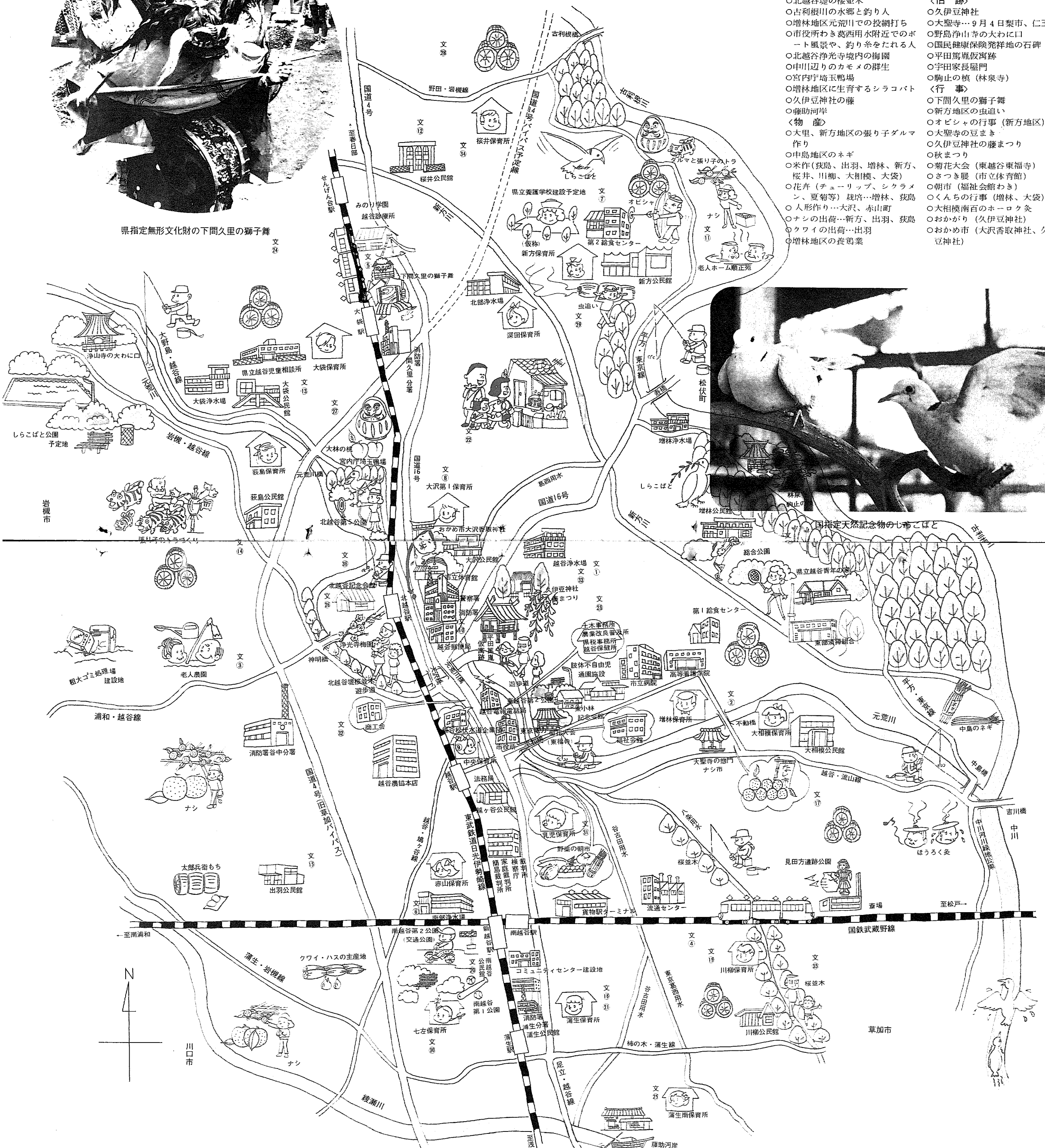
市内観光あんない



県指定無形文化財の下間久里の獅子舞

おもな名勝・物産・旧跡・行事

- 〈名勝〉
- 北越谷堤の桜並木
- 古利根川の水郷と釣り人
- 増林地区元荒川での投網打ち
- 市役所わき葛西用水附近でのボート風景や、釣り糸をたれる人
- 北越谷浄光寺境内の南園
- 中川辺りのカモメの群生
- 宮内庁瑞玉鴨場
- 増林地区に生育するシラコバト
- 久伊豆神社の藤
- 藤助河岸
- 〈物産〉
- 大里、新方地区の張り子ゲルマ作り
- 中島地区のネギ
- 米作(荻島、出羽、増林、新方、桜井、川柳、大相模、大袋)
- 花卉(チューリップ、シクラメン、夏菊等)栽培…増林、荻島
- 人形作り…大沢、赤山町
- ナシの出荷…新方、出羽、荻島のクワイの出荷…出羽
- 増林地区の養蠶業
- マスクメロンの栽培(七左町)
- 〈旧跡〉
- 久伊豆神社
- 大聖寺…9月4日梨市、仁王像
- 野島浄山寺の大わに口
- 国民健康保険発祥地の石碑
- 平田篤胤復讐跡
- 宇田家長屋門
- 駒止の榎(林泉寺)
- 〈行事〉
- 下間久里の獅子舞
- 新方地区の虫追い
- オビシの行事(新方地区)
- 大聖寺の豆まき
- 久伊豆神社の藤まつり
- 秋まつり
- 菊花大会(東越谷東福寺)
- さつき展(市立体育館)
- 朝市(福祉会館わき)
- くんちの行事(増林、大袋)
- 大相模南百のホーロク灸
- おかがり(久伊豆神社)
- おかもめ(大沢香取社、久伊豆神社)



国指定天然記念物の七色こぼと

- 文①〜⑳は小・中・高等学校、大学を表わします。
- 35 立正女子大学
 - 34 県立越谷北高等学校
 - 33 県立越谷南高等学校
 - 32 県立越谷北高等学校
 - 31 県立越谷南高等学校
 - 30 大相模小学校
 - 29 大相模小学校
 - 28 大相模小学校
 - 27 大相模小学校
 - 26 大相模小学校
 - 25 大相模小学校
 - 24 大相模小学校
 - 23 大相模小学校
 - 22 大相模小学校
 - 21 大相模小学校
 - 20 大相模小学校
 - 19 大相模小学校
 - 18 大相模小学校
 - 17 大相模小学校
 - 16 大相模小学校
 - 15 大相模小学校
 - 14 大相模小学校
 - 13 大相模小学校
 - 12 大相模小学校
 - 11 大相模小学校
 - 10 大相模小学校
 - 9 大相模小学校
 - 8 大相模小学校
 - 7 大相模小学校
 - 6 大相模小学校
 - 5 大相模小学校
 - 4 大相模小学校
 - 3 大相模小学校
 - 2 大相模小学校
 - 1 大相模小学校

成人式に参加しよう

1月15日 成人の日



責任ある人生の門出……

おとなになったことを自覚し、責任のあるこれからの人生の門出を祝い、新たに希望と生きがいを感じる機会として、今年度も次のとおり成人式を行います。

なお、式典は市内六か所で行いますので、成人該当者の方はおまかせのうえ、多数お誘い合わせのうえご出席ください。

対象者 昭和30年4月2日(昭和31年4月1日生れの方)と、1月15日(成人の日)午前9時30分～12時

※受付時間 午前9時30分～10時から10時です。

ところ 別表(市内6か所) 成人該当者の方には、案内状を送付しましたが、送付もれおよび案内状の未到着の場合も考えられますので、案内状が届かなくても該当者の方は、直接会場にお越しください。

問い合わせ先 ●市教育委員会社会教育課(電話64-1211-内線四〇七) ●別表の各公民館

会場案内一覧表

※受付時間 午前9時30分～10時

会場	該当する住所地	連絡先
市役所五階 大会議室	弥生町、赤山町1・2・6丁目、大沢1~4丁目、大沢、越ヶ谷1~5丁目、越ヶ谷本町、越ヶ谷、御殿町、柳町、中町、北越谷1~5丁目、花田、宮本町1・2丁目	大沢公民館 (76)-5800
大相模公民館	大成町1~8丁目、西方、相模町1~7丁目、増林、増森、中島、東小林、東越谷1~4丁目、東町1~7丁目	大相模公民館 0489 (82)-7370
出羽公民館	野島、小曾川、砂原、南荻島(大袋小学校の学区を除く)、西新井、北越谷、長島、宮本町3~5丁目、神明町1~3丁目、谷中町1~4丁目、七左町1~8丁目、大間野町1~5丁目、新川町1・2丁目、赤山町3丁目	出羽公民館 (62)-2854
蒲生公民館	瓦首根、瓦首根1~3丁目、登戸町、登戸、蒲生、南越谷1~3丁目、蒲生本町、蒲生西町1・2丁目、蒲生1~4丁目、愛宕町、蒲生南町、伊原1・2丁目、伊原、川柳1~6丁目、麦塚、上谷、東柳田町、元柳田町、赤山町4・5丁目、赤山町3丁目以南越谷小学校の学区、蒲生旭町、蒲生東町、蒲生寿町	蒲生公民館 (64)-0960
新方公民館	弥十郎、北川崎、弥栄町1~4丁目、大吉、向畑、大杉、大松、船渡、大里、下間久里、上間久里、大泊、平方	新方公民館 (76)-6491
大袋公民館	恩間、大竹、大道、三野宮、袋山、恩間新田、大林、大房、南荻島(4008-4442)	大袋公民館 (75)-3952



保育所(園)の入所受け付け

1月8日から20日まで市内保育所(園)および保育課で

市では、ことし四月から市内の保育所(園)へ入所する児童の申し込みを下記の受け付け日割りに従い受け付けします。

入所申請書は各保育所および市役所保育課にあります。

入所できる

年齢資格は……

入所できる年齢資格は、昭和五十一年四月一日現在で満三歳から就学前の児童です。

※なお、乳児、蒲生、大袋、蒲生南、赤山、新方(仮称)の各保育所は生後三か月から、荻島保育所については一歳からの乳幼児が対象となります。

入所できる児童は、母親が日中外出で働いているためにその児童の保育ができず、かつ、同居の親族その他の者が保育に当たることができないとか、その他の事由によってその児童の保育ができないと認められることが条件となります。

申し込みに

必要なのは……

給与所得者は源泉徴収票、農業や営業に従事する方は確定申告書控、また、内職(居宅外)に従事している方は、雇主の証明書が必ず必要です。

※添付書類不備の場合は受け付けしませんので、入所案内書をよくご覧のうえ申請書を出してください。

※入所申請をされても、保育所定員に余裕のない場合は入所できません。ご承知ください。

要となります。

なお、母親が病気のために入所を希望される場合と、母親が病人の看護をしている場合には病人の診断書が必要です。

三歳未満の入所希望児童については、受け付け時点での健康診断書は必要ありません。

《注意事項》

保育所(園)入所申請受け付け日割り

保育所(園)名	入所できる児童数	受付日	受付場所
新方(仮称)保育所	3歳未満児 30人 3歳以上児 70人	1月8日(木)	福祉会館内保育課
越ヶ谷保育園	3歳以上児 25人	"	"
大沢	3歳以上児 45人	"	"
あおい	3歳以上児 25人	"	"
乳児保育所	3歳未満児 45人	"	"
中央	3歳以上児 45人	"	"
赤山	3歳未満児 15人 3歳以上児 5人	"	"
大沢第一	3歳以上児 45人	"	大沢第一保育所
蒲生	3歳未満児 15人 3歳以上児 20人	1月9日(金)	蒲生
蒲生南	3歳未満児 15人 3歳以上児 4人	"	蒲生南
川柳	3歳以上児 40人	1月12日(月)	川柳
七左	3歳以上児 40人	"	七左
増林	3歳以上児 40人	1月13日(火)	増林
大相模	3歳以上児 20人	"	大相模
大袋	3歳未満児 14人 3歳以上児 20人	1月14日(水)	大袋
荻島	3歳未満児 14人 3歳以上児 25人	"	荻島
桜井	3歳以上児 25人	1月16日(金)	桜井
深	3歳以上児 40人	"	深

*入所できる児童数は若干の変更がありますので、あらかじめご承知ください。

*受け付け時間…午前10時～午後3時まで、当日都合の悪い方は、1月8日(木)から1月20日(火)まで福祉会館内保育課で受け付けします。ただし土曜日は正午まで、日曜・祭日は除きます。

*問い合わせ先…市役所保育課 電話64-2111 内線297



市民と市長の対話集会

あなたも市長と話してみませんか

第七回は1月9日(金)桜井公民館

市と市民のみなさんの相互の理解を一層深め、住民参加による住みよいまちづくりを進めていくために、各地区公民館で市民のみなさんと市長が積極的に話し合える市民と市長の対話集会を毎月一回行っています。

この対話集会は、市民の方ならどなたでも参加できますので、お気軽においでください。

とき 1月9日(金)

愛の献血を……

- 1月8日(木)出羽公民館
- 1月14日(水)越ヶ谷市役所
- 1月19日(月)川柳公民館

午前 10時～12時
午後 1時～3時

越谷市立病院

市立病院では、病棟管理業務に従事するクラーク(病棟事務)職員を次のとおり募集します。

募集人員 男子若干名

応募資格

大学卒業の学歴を有する方で、昭和51年4月1日現在満30歳までの方(新卒者の場合は、昭和51年2月初旬からアルバイト勤務の可能な者)

試験日 1月22日(木)

受付締切り日 1月16日(金)

提出書類

履歴書および健康診断書(いずれも市の指定用紙)

採用時期 昭和51年4月1日

勤務場所 越谷市立病院(越谷市東小林95番地)

問い合わせ先

●越谷市立病院庶務課庶務係 電話65-1221-内線三二二



金剛寺の名犬

江戸に津村正恭という人がいた。京都に生まれたが、江戸に移り住んで馬場に居住して秋田藩の御用達を勤めた。和歌・和文の道に秀でており、紀行文なども残して文化三年(一八〇六)に没したが、この人の名を永く世に伝えることにな

つたのは、その見聞随筆集である「譚海(たんかい)」の存在による。譚海は全十五巻、安永五年(一七七六)から寛政七年(一七九五)までの間に、くくめに他人から聴いた珍しい話を書留めておいたもの集積である。江戸はこの期になると諸国から人々の往来がけしく、全国各地の珍しい話題を集まり交す機会が多くなった。この十五巻という大冊には各地の、しかも各階層にわたる珍しい話柄がぎっしりと詰め込まれている。その中に、巻六であるが、越谷のある寺の名犬のことが出てくる。武州越谷金剛寺という真言宗の寺に、前から白犬二疋を飼っており、住持が、宗派の役所である江戸本所の弥勒(みろく)寺へ所用がある時は、この犬に使をさせる。すなわち、書状をしたためると、この二疋を呼んで、一疋の首に書状を、一疋の首に銀二百文を結びつける。二疋は出て行き、二時(ふたとき)一四時間)たつと首に弥勒寺の返書結び付けて帰ってくるのである。ただし、前の晩に、あす使出す旨を犬に告げ、海に出る金剛寺とは、いまの岩



写真は末田(岩槻市) 金剛院の山門

槻市末田の金剛院のことを誤り伝えたものであろう。末田の金剛院は、当時は末寺あまたを擁する真言宗有力寺院で、江戸との交渉も頻りであった。越谷宿にも近か

こどもクイズ

(第44回問題)



- あいているところに文字を一字ずつ入れて、ことばにしてください。
- ① 「イネの虫ホーイ、ホー」と、七月二十四日に、新方地区で行われる行事です。
- ② 沖繩県の県庁所在地はどこでしょう。
- ③ 毎年七月十五日に下間久里で行われる行事で、県の無形文化財(芸能)に指定されています。
- ④ 目かくしをして、顔をつくつ
- ⑤ ヲコのカギ
- ⑥ お正月に、門のところに竹と、いっしょに飾ってあります。
- ⑦ 青森県と秋田県の境には、大きな湖があります。
- ⑧ 越谷市は、二つの町と八つの町とでなっています。
- ⑨ 〇〇と草加町の一部分が結ばれてきました。
- ⑩ 節分の日には、「福はうち〇
- ⑪ ヲコがね虫は金もちだ... さて、こがね虫は何をたてたのでしょうか。
- ⑫ 「鬼さん〇〇〇手のなる方へ」
- ⑬ 口の大きな動物です。
- ⑭ おせち料理には、〇〇きんとんもあります。
- ⑮ お正月に、門のところに竹と、いっしょに飾ってあります。
- ⑯ 青森県と秋田県の境には、大きな湖があります。
- ⑰ 越谷市は、二つの町と八つの町とでなっています。
- ⑱ 〇〇と草加町の一部分が結ばれてきました。
- ⑳ 節分の日には、「福はうち〇

目2番1号、郵便番号343 越谷市役所内広報課こどもクイズ係です。

五、正解者10名のみみなさんに賞品をおくりします。正解者多数の場合は抽せんです。

六、応募のできる人は、市内の小

七、当選者発表は2月15日号の広報こしがやこどもコーナーに掲載します。

学校、中学校に通学しているみなさんです。

目2番1号、郵便番号343 越谷市役所内広報課こどもクイズ係です。

五、正解者10名のみみなさんに賞品をおくりします。正解者多数の場合は抽せんです。

六、応募のできる人は、市内の小

七、当選者発表は2月15日号の広報こしがやこどもコーナーに掲載します。

学校、中学校に通学しているみなさんです。

おしらせのページ

燃えないごみの収集日

1月(16~31日)の燃えないごみの収集を次の日程のとおり行います。(清掃課)

と き	と こ ろ	
16日(金)	28日(水)	東越谷1~4丁目、増林、花田、中島、越ヶ谷4・5丁目、柳町、御殿町、砂原、小曾川、野島、丸友1・2、外野合、親睦会、大成町1~8丁目、弥栄町1~4丁目、向畑、北川崎、大吉
19日(月)	29日(木)	東小林、弥十郎、市営住宅、鷺越、東町1~7丁目、大杉、大松、船渡、宮本町1・2丁目、大間野町3~5丁目
20日(火)	30日(金)	川柳町1~5丁目、蒲生4丁目、大林新生、大房新生、住吉新生、藤ヶ丘、越ヶ谷1~3丁目、大里東、大里、大里南、鯛の島、宮本町3~5丁目、大間野町1・2丁目
21日(水)		蒲生東町、蒲生寿町、大房、沼田、大林、越ヶ谷本町、中町、下間久里、北越谷3~5丁目
22日(木)		蒲生1・2丁目、蒲生本町、蒲生南町、蒲生愛宕町、北越谷1・2丁目、海道西、桃山、うめが丘、梅園台、梅ヶ丘中央、弥生町、東柳田町、元柳田町
23日(金)		蒲生3丁目、蒲生旭町、伊原1・2丁目、神明町1~3丁目、谷中町1~4丁目、新川町1・2丁目、恩間、赤山町1・2丁目、上間久里
24日(土)		蒲生西町1・2丁目、蒲生茜町、南越谷3丁目、大沢1・2・4丁目、七左町1~3丁目、雇用促進事業団、赤山町3・4丁目、平方(立野、三和、山谷は除く)
26日(月)		登戸町、南越谷1・2丁目、大沢3・5・6丁目、七左町4~8丁目、大竹、恩間新田、三野宮、赤山町5・6丁目、立野、三和、山谷、竹越、大道
27日(火)		瓦曾根1~3丁目、登戸新田、登戸西町会、瓦曾根、宮前、宮浦、東宮前、南荻島(野合、野中、新田、下手)、長島、西新井、北後谷、袋山、相模町1~7丁目、西方、大泊

*ごみは午前8時までに、袋に入れ口を結んで出してください。

人権(法律) 相談所を開設

交通事故、戸籍、家庭内のことなど、法律上の問題でお悩みの方はお任せください。相談は無料です。なお、相談についての秘密は固く守りますので、お気軽にご利用ください。

1月9日(金)

午前10時~午後3時まで

市役所五階第一会議室

法務省人権擁護委員 浦和地方法務局越谷支局 人権擁護担当官

くわしくは市役所庶務課へ(電話64-1211-1内線三一七)

若妻学級の 受講者募集

母子の健康増進をはかるため、次の日程のとおり若妻学級を開きます。

対象者 妊娠可能な婦人および妊娠している方

参加費は無料です。お気軽に

施設めぐり 参加者募集

市民のみなさんに、市内の公共施設を見学していただき、市政について理解を深めていただくために、毎月一回「施設めぐり」を行います。

参加費は無料です。お気軽に

排水設備工事 公認業者の営業

このほど越谷市排水設備工事公認業者の金井電気工業所の営業所名、所在地が次のとおり変更になりました。

所在地 越谷市恩間二四七一 営業所名 金井設備工業所 電話番号 75-1075-1

お申し込みください。

とき 1月30日(金) 午前9時

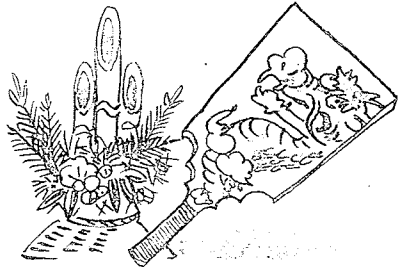
市役所地下和室集合(解散は午後4時半頃)

給食センター、東部清掃組合、青年の家、消防署 蒲生分署、北部浄水場等

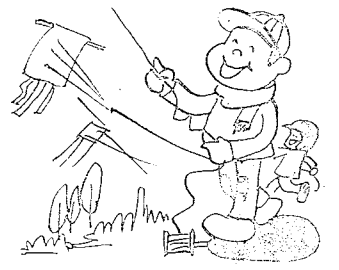
申し込み方法 参加希望者は、1月15日までに、ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、市役所広報課までお申し込みください。なお、募集人員は30名です。

※昼食は各自持参ください。

問い合わせ先市役所庶務課広報係 電話64-1211-1内線三四五



越谷の歳時記



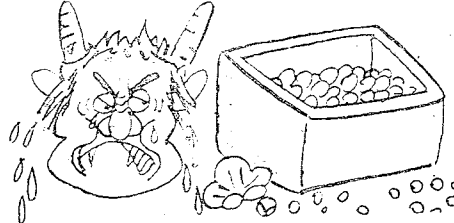
1月	①	2	3	④	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	⑮	16	17	⑱	19	20	21	22	23	24	⑳	26	27	28	29	30	31
2月	①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	⑪	12	13	14	⑮	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	⑳		
3月	1	2	3	4	5	6	⑦	8	9	10	11	12	13	⑭	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	⑳	29	30	31

北川崎のオビシヤ(1月)

関東地方東南部で行われる年頭の農村行事の一つ。古くは「歩射」(ぶしや)といわれ、弓的を射ってその年の豊凶を占うもので、今でも新方地区の北川崎にこの素朴な行事が受け継がれています。

大聖寺の豆まき(2月4日)

2月4日は節分。大相模不動尊では、毎年この日の夜7時



頃からにぎやかに邪気払いの「豆まき」が行われます。赤々と燃えあがるかがり火を持った赤鬼と青鬼が本堂に現われるとみんな「福は内ノ 鬼は外ノ」この日ばかりは夜おそくまでにぎわいます。

野島浄山寺のご開帳(2月24日)

今から1100年前に建立されたといわれる野島浄山寺(荻島地区)のご開帳は、毎年2月24日、8月24日の年2回開かれます。この浄山寺は子授け、安産、子育て地蔵としても広く知られ、いずれも縁日には近郷近在の人たちでにぎわいをみせます。

浄光寺の梅園

3月に入るとうららかな早春の日差しを受けて北越谷浄光寺の80本余りの梅の木も一斉に開花……。白や淡いピンク色の花はあたり一面春の香りを漂よわせます。



4月	1	2	3	④	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	⑱	19	20	21	22	23	24	⑳	26	27	28	⑳	30		
5月	1	②	③	④	⑤	6	7	8	⑨	10	11	12	13	14	15	⑮	16	17	18	19	20	21	22	⑳	24	25	26	27	28	29	⑳	31
6月	1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	10	11	12	⑬	14	15	16	17	18	19	⑳	21	22	23	24	25	26	⑳	28	29	30		

北越谷の桜並木

延長1キロメートルにおよぶ北越谷元荒川堤の桜並木も4月上旬～中旬にかけて一斉に開花し、休日などには、春を満喫する人たちににぎわいます。

久伊豆神社の藤まつり(4月下旬～5月上旬)

恒例の久伊豆神社の藤まつりは毎年5月のゴールデンウィークを中心に開催されます。樹齢300年にもおよぶ古木は県の天然記念物にも指定されており、長さ1メートル近くにもなる淡い紫色の花房の下では、たくさんのお見物客でにぎわっています。

愛鳥週間……「しらこぼと」(5月10日～)

5月10日から1週間、愛鳥週間がはじまります。国の天然記念物「しらこぼと」は県の鳥としても指定され、全国でも越谷市近郊だけにしか生息しておらず貴重な鳥の一つに数え



7月	1	2	3	④	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	⑱	19	20	21	22	23	24	⑳	26	27	28	29	30	31
8月	①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	11	12	13	14	⑮	16	17	18	19	20	21	⑳	23	24	25	26	27	28	29	30	31
9月	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10	11	⑫	13	14	⑮	16	17	18	⑱	20	21	22	⑳	24	25	⑳	27	28	29	30	

下間久里のしし舞い(7月15日)

約400年の歴史をもつうけ継がれ、県の無形文化財に指定されている「下間久里のしし舞い」は、毎年7月15日に行われます。悪疫退散、五穀豊饒を祈りながら地区内を回り、家庭の座敷の中で舞うもので家内安全を祈る笛や太鼓の音が夜おそくまでひびきます。

虫追 い(7月24日)

「稲の虫ホーイ、ホーイ」田んぼのあぜ道を赤々と燃えあがる大小のタイマツをもった40～50人あまりの人々が鐘や太鼓を打ち鳴らしながら歩く……。毎年7月24日の夜、新方地区の北川崎、向畑で水稲を害虫から守るといわれる昔ながらの農家の年中行事「虫追い」が行われます。

ほうろく灸(土用のうしの日)

毎年、土用のうしの日、市内大相模地区東町2丁目の中山

10月	1	2	③	4	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	⑰	18	19	20	21	22	23	⑳	25	26	27	28	29	30	31
11月	1	2	③	4	5	6	⑦	8	9	10	11	12	13	⑭	15	16	17	18	19	20	21	22	⑳	23	24	25	26	27	28	29	30
12月	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10	11	⑫	13	14	15	16	17	18	⑱	20	21	22	23	24	25	⑳	27	28	29	30	31

くんちの行事(10月9日)

子どもたちの無礼講として知られる「くんちの行事」が今なお増林および袋山の地区子ども会でも子どもたちの行事の一つとして受け継がれています。この祭は、旧暦9月9日に、早稲の収穫と子どもたちの発育を祈願して、江戸時代から続いている伝統行事で子どもたちは近くの神社に集まり1日だけ神の子となり太鼓をたたいたり、口々に赤めし持って来いと呼び回り大いにハメをはずします。

市民文化祭

11月3日の文化の日を中心に一週間、市立体育館および福祉会館老人娯楽室を主会場として開かれます。展示および演出部門から期間中は多数の参観客でにぎわいます。

市民体育祭(11月3日)

市民相互の交流と体力づくりをめざす市最大のスポーツ祭

さん宅で、夏の健康を保つための「ほうろく灸」が行われます。この行事は、その昔、武田信玄が戦場に向う夏の日、頭痛を起こし、カプトの上から灸をすえたところ病気が治ったことからはじまったといわれ、今でも夏の行事の一つとして土用のうしの日に続けられているものです。

大聖寺の梨市(9月4日)

9月4日は大相模の「お不動様」として知られる市内相模町大聖寺の恒例の秋祭り。別名「ナシ市」とも呼ばれています。

秋まつり(9月下旬)

ばかににぎわいをみせることから別名「バカ祭」で知られる久伊豆神社の大祭。最近では交通量の増加などで2年に1度の開催ですが祭当日は越ヶ谷旧道は8台の山車がねり歩き、市街地は昼夜祭一色に塗りつぶされます。

ダルマ作り

農家の副業として長い伝統をもつ越谷のダルマづくりは、11月頃から年の瀬にかけて最盛期をむかえます。現在市内で10軒ほどの農家が製作していますが、これらのダルマは、ダルマ市や神社、お寺の祭礼、縁日などに縁起ものとして売られてゆきます。

おかめ市

別名「おかめ市」で親しまれている大沢香取神社の香取市が、12月2日の昼から夜にかけてにぎやかに行われます。神社境内には福を集めるといわれる縁起もののクマ手の露店も出て景気のいい手打ちの音が冬の空にひびきわたります。また、久伊豆神社の縁日は12月15日に毎年開かれ夜おそくまでにぎわいをみせ師走のムードを高めます。

(発行：越谷市・埼玉県越谷市役所 編集：企画部広報課) 電話 0489-64-1111

